

## 寄附のご案内

ご寄附をいただいた寄附金は、大学が行う事業の一層の充実のための資金とさせていただきます。  
ご寄附いただく個人、法人、団体等が用途を希望される場合は、そのご意向に沿って有効に活用させていただきます。  
皆様の格別のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



### ● 寄附の目的

- (1) 教育、研究活動、地域貢献活動の充実
- (2) 学生支援の充実
- (3) 施設・設備の整備
- (4) その他大学運営の向上



QRで確認

### ● 寄附の方法

#### インターネットからのお手続き

決済方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyの中から選択できます。

#### 書面によるお手続き

所定の様式によりお申し込みの上、本学から送付する書類に基づきお振込みください。

## 福知山市のふるさと納税による寄附

設置団体である福知山市のふるさと納税制度の区分には「福知山公立大学の教育研究環境の整備や地域課題の解決等に向けた研究活動、学生への奨学金事業への寄附」が設けられています。寄附をされた方には、金額に応じて福知山市の特産品の中から希望されるお礼品が贈呈されます。



QRで確認

## 古本募金(きしゃぼん)による寄附

読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定金額が福知山公立大学に寄附される制度です。

### ● 寄附の方法

#### 宅配便によるご寄附

ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が受け取りに伺います(5点以上で送料無料)。

#### 回収ボックスのご利用

学内または福知山市役所(1階ロビー)に設置している回収ボックスに入れてください。



QRで確認



## WEB OPEN CAMPUS 開催中!

パソコンやスマホから気軽にアクセスできるWEBでのオープンキャンパスを実施しています。福知山公立大学の学びや先生からのメッセージなどを動画コンテンツでご覧いただけます。受験準備に役立つ情報をしっかり手に入れてくださいね。

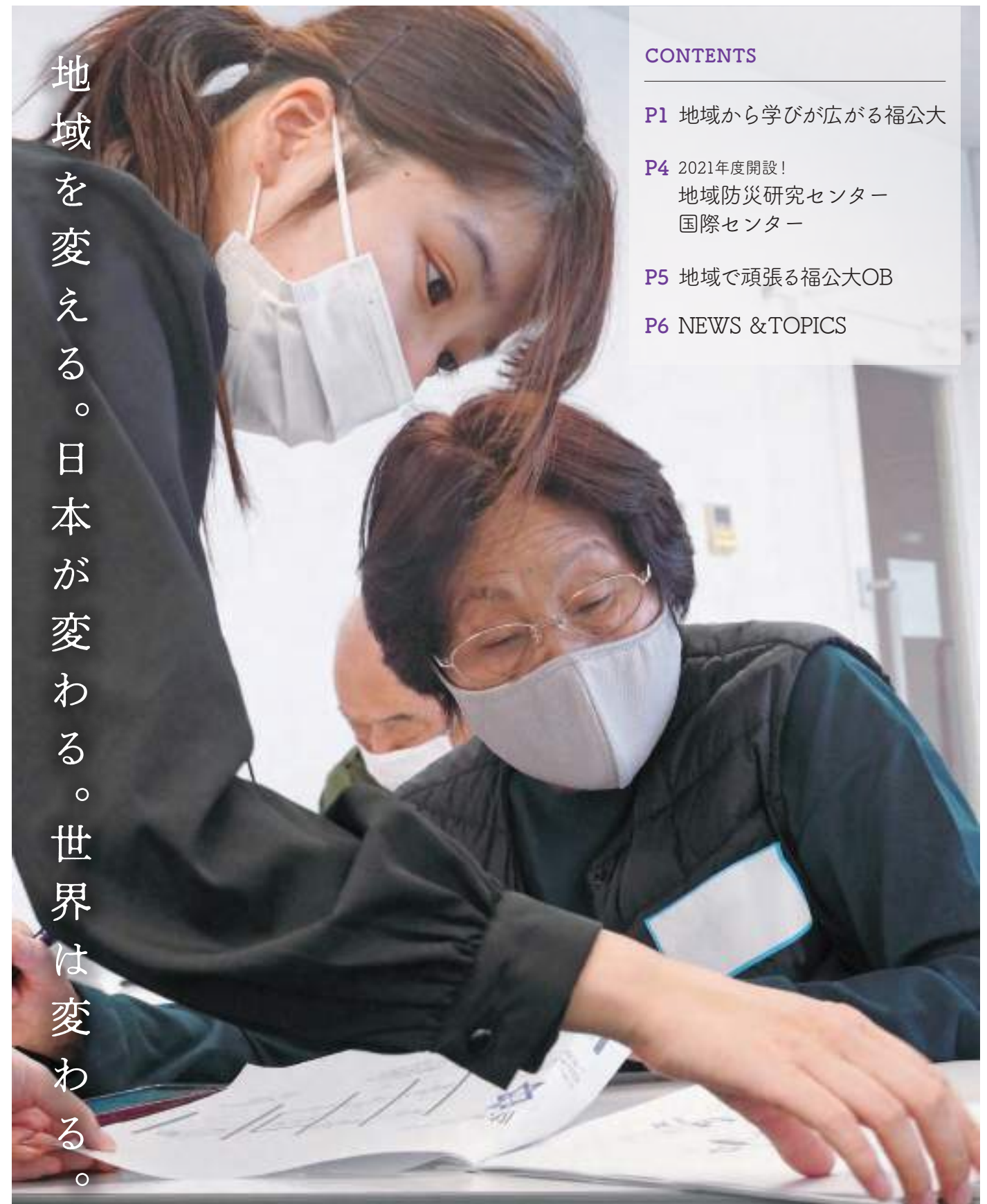


QRで確認

<https://www.fukuchiyama.ac.jp/oc/>

皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。  
お待ちしております。

● ご意見、ご感想は  
〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 福知山公立大学 事務局  
Tel. 0773-24-7100 Fax. 0773-24-7170  
E-mail info@fukuchiyama.ac.jp



地域を変える。日本が変わる。世界は変わる。

## CONTENTS

P1 地域から学びが広がる福公大

P4 2021年度開設!  
地域防災研究センター  
国際センター

P5 地域で頑張る福公大OB

P6 NEWS & TOPICS



# 地域から学びが広がる福公大

福知山公立大学では、基本理念に「地域のための大学」を掲げ、課題解決に向けて共に取り組む「地域協働型教育研究」をはじめ、地域の方々と共に学ぶ様々な事業を展開しています。

ここでは、その一部をご紹介します。



地域で市民と学ぶ

01

## スマホ・タブレット活用初心者講座

講習会に学生が講師として参加

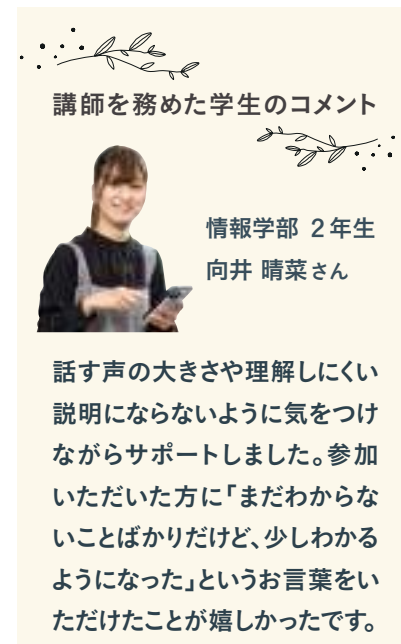
福知山市は、AI(人工知能)やICT(情報通信技術)を活用して防災など地域課題の解決を図る「スマートシティ構想」に取り組んでおり、高齢者を含めた幅広い世代に向けてスマートフォンやタブレットの基本知識や操作の習得を推進しています。福知山公立大学では、福知山市からの委託を受け、担当する情報学部の山本吉伸教授が「スマホ・タブレット活用初心者講座」を中央公民館および地域公民館(計10館)で開催し、スマートフォンやタブレットの基本操作や便利な使い方などを参加者に教えています。

### 機種や各自のレベルに合わせてマンツーマンで指導

講座1回あたりの参加者は20人

ほどですが、スマートフォンの機種が違くと操作手順が異なり、習熟度合いも千差万別。機種や各自のレベルに合わせたマンツーマンでの指導が必要となります。そこで、山本教授のほか情報学部の学生も講師として参加。1講座に7人ほどの学生が参加者に寄り添い、スマートフォンでの電話のかけ方からLINEやZoomの使い方まで丁寧に教えました。「Wi-Fi」など日常的に使っている言葉も、専門用語を使わずに説明しようとするのが難しく、講師を務めた学生の勉強にもなりました。参加者からの評判も上々で、「親切に教えてもらった」などの声が聞かれました。講師を務めた学生からは「人の役に立っているという実感を得られ、やりがいを感じられた」や、「単な

るお金を稼ぐアルバイトより有意義で、モチベーションが上がる」などの感想が多く聞かれました。



講師を務めた学生のコメント

情報学部 2年生  
向井 晴菜さん

話す声の大きさや理解しにくい説明にならないように気をつけながらサポートしました。参加いただいた方に「まだわからないことばかりだけど、少しわかるようになった」というお言葉をいただけたことが嬉しかったです。

## 学生が地域で学ぶ

02

### カワイリバースプロジェクト

地元の有志が集い、地域の活性化策を検討するプロジェクトにゼミで参加

様々な施策を講じることで地域の活性化をめざす

地域経営学部の杉岡秀紀准教授が担当する地域経営演習I・IIでは、「川合がいつまでも川合であるために」をスローガンとして川合地域(福知山市)の有志が集い、地域を活性化させるための様々な施策を考え、持続可能な地域づくりに寄与することを目的とする「カワイリバースプロジェクト」に参加しています。

### 郷土料理を使った「川合定食」を考案

現在、プロジェクトの一環として廃校となった旧川合小学校の活用方法を一緒に考えており、その手始めに本学の学生が地域の方々から川合地区の名物である「こんにやく」や「万願寺みそ」を使用した郷土料理について学んでいます。

今後は、ここで学んだ素材を活かした「川合定食」のレシピ化や試食会の実現に向けて準備を進めていき、将来的には、旧川合小学校で常時食べることができたり、本学の食堂で学生に食べてもらえるような取り組みになるよう活動を進めていく予定です。



## 学生が地域で学ぶ

03

### 福知山鉄道館ポップランド1号館の移転において、AR(拡張現実)技術を活用した蒸気機関車の石炭をくべる体験施設を考案する市委託のプロジェクトに参加

#### 鉄道館ポップランドで新たな体験型プログラムを構想

建物の老朽化により休館中の福知山鉄道館ポップランドが「鉄道の歴史継承」をコンセプトに2023年度の移転に向けて準備が進められる中、



CGを利用して機関車に石炭をくべる「機関車火夫体験」の展示制作に情報学部の倉本到教授のゼミが参加しています。石炭をくべる火室を模した空間で、スコップを動かすとカメラが感知し、入れる石炭の量によって車窓の景色が流れるスピードが変わる仕組み。倉本教授が、石炭をくべるという動作(スコップの方向やスピード、手首の返し方など)を認識するプログラムを学生らとともに開発しています。

#### 社会実装につながる実践的な学び 人の動作を感知してデータを作る

ところまでは完成し、その動作の上手下手を判断する基準として、ベテランの火夫(機関助手)の動作をデータ化しようという段階にきています。これらのプロジェクトを情報学部の学生が中心になって取り組んでいます。参加している情報学部の学生からは「通常の授業だと机上の課題に解答して終わることがほとんどですが、実際に社会実装されるものに継続的に関わることができるので、やりがいもあるし実践的な力も身につくと思います」という声が聞かれました。



◎ 地域から学びが広がる福公大

地域で市民と学ぶ

04 NEXT産業創造プログラム  
つながりと集積から新たな価値創造に挑戦

新しい事業を生み出すための知識やスキルを身につける

福知山公立大学では福知山市から「NEXTふくちやま産業創造事業運営業務」の委託を受け、起業や企業内起業、事業継承をめざす人を対象に、必要な知識やスキルを短期間で

修得できる「NEXT産業創造プログラム」を開講しています。2021年度の受講者は社会人の方々14人と本学学生8人の22人が受講しています。起業に必要な基礎的な知識やスキルから事業開発の手法の修得をめざし、最終的には現実の課題に対してグループで取り組み、具体的な作業を行うPBL型の科目で実践遂行能力を養います。

地域に埋もれた資源やサービスを活用

プログラムを推進する地域経

営学部の亀井省吾教授は「世界中と競い合う都市部に比べて地方には競合が少なく、また見逃されている資源やサービスが豊富にあります。これらを全国とつなげることで新しい事業を生み出せないかと考えています」と地域における価値創造の可能性を語ります。このプログラムを起爆剤として「挑戦」する機運・風土が醸成されることで、この地域への企業の集積や既存企業との連携による新規事業の創造が期待できます。新たな地域発の産業振興に貢献していきます。



地域で市民と学ぶ

05 中丹マイスクールデザイン事業  
小中学校のプログラミング教育を支援

プログラミング教育の一貫で小中学校に講師を派遣

情報学部では京都府教育委員会中丹教育局からの依頼を受け、「中丹マイスクールデザイン」事業に取り組んでいます。小中学校のプログラミング教育の支援を目的として、福知山市夜久野学園小学校・中学校を対象に、ICT活用やプログラミング等を学ぶための校内研修会への講師派遣やプログラミング教材の開発等を支援しています。

各講師が対象者にあわせた授業を展開し理解度を高める

橋田光代准教授が担当する小学5年生の音楽科の授業では、生徒に1台ずつ支給されるタブレット端末を使い、音楽制作アプリ「Garage Band」で作曲にチャレンジ。タブレットで様々な楽器を鳴らし、音源をつなげて演奏できるこのアプリを使って、「日本の音階」の魅力に触れました。

前田一貴講師が担当する中学3年生の数学科の授業にもタブレットを活用。いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や特徴を捉えることを目的とした授業では、図形が動くことで変化する面積を関数と捉え、グラフ作成アプリ「Geo Gebra」を用いて視覚化し、理解につなげました。



福知山公立大学では、2021年度から新たに「地域防災研究センター」と「国際センター」の2つの附属機関を開設しました。センターの目的や今後の計画について、それぞれのセンター長に話を聞きました。

地域防災研究センター

集積されたデータを一括化し、現場と連携した地域の防災を探究します。

地域防災研究センター 横山泰昭センター長（特命教授）

現在に至るまで多くの災害に見舞われてきた福知山地域を中心に、地域の災害特性に即した防災について研究しています。そのためにまずは各所に散在する過去の災害に関するデータを一括化し、データベースを構築します。その上で、情報学部と地域経営学部の知見を融合し、例えば自治体災害対策本部等における統合的な意思決定支援システムやモバイルツールへの避難情報提供システムの開発をめざします。消防や防災組織などの現場と常に連携し、現状を把握しながら活動し、その成果を社会実装につなげ、地域の防災・危機管理に寄与することを目的に活動していきます。

地域防災研究センターサイト



マサチューセッツ工科大学(米国)との共同ミーティングをオンラインで開催

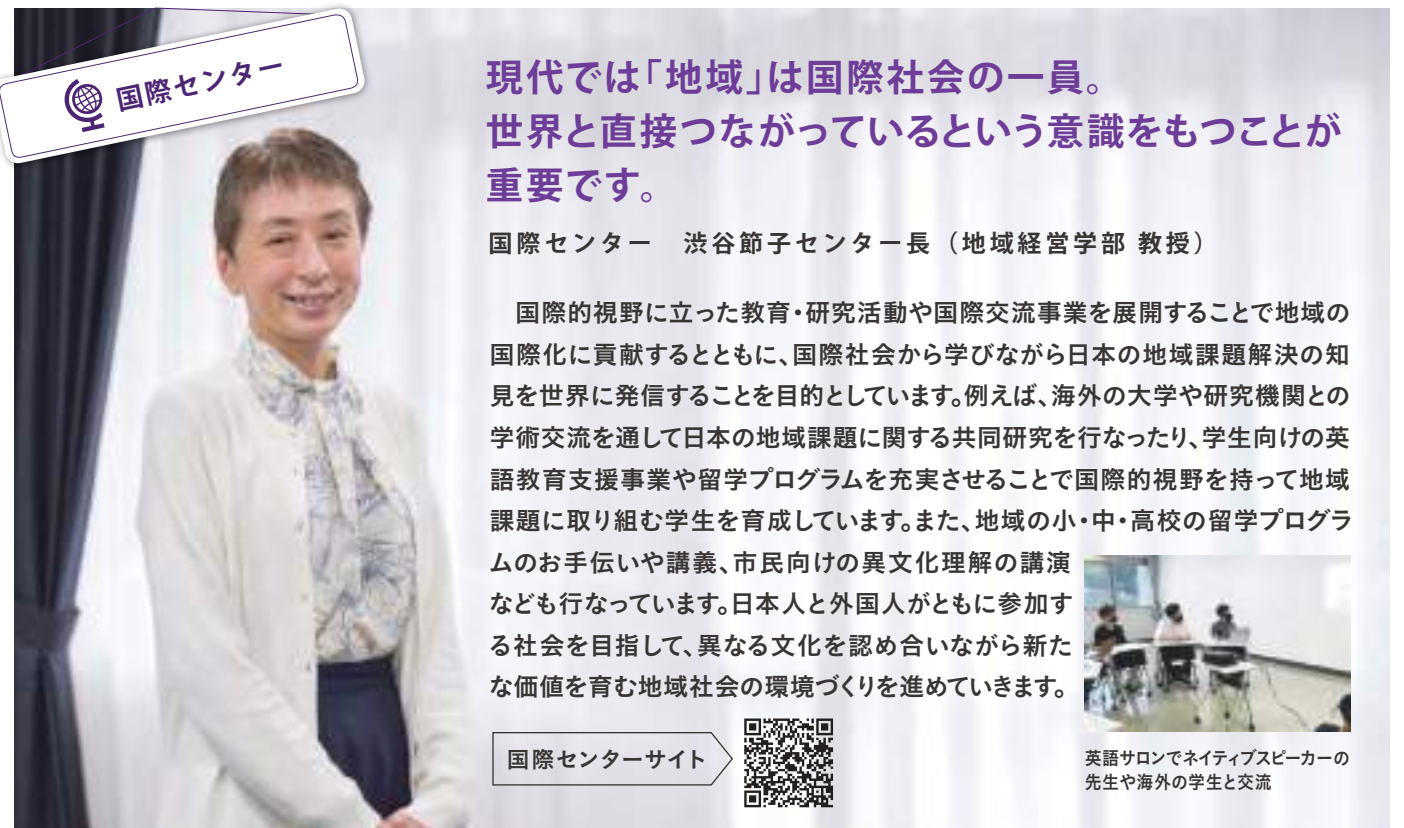
国際センター

現代では「地域」は国際社会の一員。世界と直接つながっているという意識をもつことが重要です。

国際センター 渋谷節子センター長（地域経営学部 教授）

国際的視野に立った教育・研究活動や国際交流事業を展開することで地域の国際化に貢献するとともに、国際社会から学びながら日本の地域課題解決の知見を世界に発信することを目的としています。例えば、海外の大学や研究機関との学術交流を通して日本の地域課題に関する共同研究を行ったり、学生向けの英語教育支援事業や留学プログラムを充実させることで国際的視野を持って地域課題に取り組む学生を育成しています。また、地域の小・中・高校の留学プログラムのお手伝いや講義、市民向けの異文化理解の講演なども行なっています。日本人と外国人がともに参加する社会を目指して、異なる文化を認め合いながら新たな価値を育む地域社会の環境づくりを進めていきます。

国際センターサイト



英語サロンでネイティブスピーカーの先生や海外の学生と交流



地域で  
頑張る  
福公大OB



### 活動を通して大きく育まれた 福知山に恩返ししたい!

後藤 英智さん (2020年度 地域経営学部 地域経営学科 卒業)  
福知山市消防本部勤務  
宮崎県立宮崎西高等学校出身

小学校時代の避難訓練で見た消防車や消防士のキビキビした姿に漠然と憧れていただけでしたが、中学生の時に職場体験実習でお世話になった消防署で、人命を守り災害を防ぐ消防の仕事の間近に見ることができました。この体験に強い影響を受け、将来は社会に貢献する消防士になろうと決心しました。福知山公立大学には公務員育成のプログラムがあると知り、生まれ育った宮崎県からやってきました。将来の夢につなげようと、大学2年で地元の消防団に入団。学生では初の団員でした。消防団員の方々はじめ周囲の社会人の方々に本当にお世話になり、面倒を見ていただきました。そのご恩を返し、これが福知山での就職を決心した一番の理由です。



### お世話になった福知山の人々の暮らしを 災害や火災から守っていききたい。

火災から命を守ることと併せて福知山には水害への対応という課題もあります。私自身、2018年の水害の猛威を体験しました。いかに平常時に防災意識を持ち、その予防を心がけるかが大切です。大学進学というご縁で生まれ故郷から移ってきた福知山市で、子どもの頃からの夢が叶いました。まだまだ消防学校を出たばかりの新人ですが、大切な人の命を救うという使命を全うできるよう頑張っていきます。

### 2020年度 地域経営学部 就職実績 (2021年5月1日時点)

地域経営学科  
就職率 **99.1%**

【主な就職先(抜粋)】 防衛省(国家一般職)、国税庁(国税専門官)、京都府福知山市、西日本旅客鉄道(株)、WILLER(株)、積水ハウス(株)、(株)ニトリ、(株)パソナグループ、(株)長田野ガスセンター、京都中央信用金庫、(株)伊予銀行

医療福祉経営学科  
就職率 **100%**

【主な就職先(抜粋)】 市立福知山市民病院、(独)地域医療機能推進機構 東日本地区事務所、日本赤十字社兵庫県支部、(特医)三青園丹後ふるさと病院、(株)ソフトウェア・サービス、パナソニック健康保険組合、(独)国立病院機構近畿グループ、社会保険診療報酬支払基金、(独)三重県立総合医療センター

# NEWS & TOPICS

### 舞鶴工業高等専門学校との 包括的連携協力に関する協定締結



2021年6月30日(水)に舞鶴工業高等専門学校と本学との包括的連携協力に関する協定の調印式が執り行われました。  
今回の協定は、持続的な地域社会の発展のため、舞鶴工業高等専門学校と福知山公立大学が包括的な連携を深めることにより、それぞれの資源や機能等の活用を図り、幅広い分野で相互に協力して、地域社会の発展に寄与することを目的としています。このために、地域の人材育成や定着、産業振興、課題解決、ものづくりと情報化、保健医療福祉の向上等を連携・協力事項に定めています。

### 福知山公立大学教育後援会による 「100円食堂」



「100円食堂」は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により経済的に困窮した学生を支援するため、学生の保護者で構成される福知山公立大学教育後援会のご支援により実施されました。  
学生には通常500円の日替わり定食をはじめ、麺類、カレーライス等の各種メニューが100円で提供され、利用した学生からは「経済面を気にせずに好きなメニューを食べることができ、食堂に気軽に足を運ぶことができるのでとてもありがたいです」との感想が聞かれました。

### 星准教授のゼミ生が第47回 日本診療情報管理学会学術大会の 学生セッションで表彰されました

2021年9月16日(木)、17日(金)に「第47回日本診療情報管理学会学術大会」が開催されました。学生セッションにおいて、本学地域経営学部の星雅丈准教授のゼミ生10人が『北近畿地域の医療・介護資源の現状を「類似地域」と比較するー北海道・長野県・福井県における3つのエリアを対象地域としてー』をテーマに発表し、独創性のあるテーマの学生発表に贈られる「いちじく賞」を受賞しました。



### 本学の数理・データサイエンス・ AI教育プログラム(リテラシーレベル) が文部科学省に認定されました

数理・データサイエンス・AIを適切に活用するための基礎的な能力を育成する教育プログラムを文部科学大臣が認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に本学の教育プログラムが認定されました。  
本プログラムは学部を問わず履修することができ、所定の単位修得により本学が履修認定を行います。

